

「新たな公共プロジェクト」プロジェクト登録団体一覧

No.	団体	プロジェクトリーダー	プロジェクト名	プロジェクトの概要	登録分類	関係課
1	特定非営利活動法人街ing本郷	長谷川 大	地域ブランド「文人郷(ぶんじんきょう)」構築による地域課題解決	本郷には多くの文人がいたことで有名です。またその文人は全国各地に足跡を残しています。各地域は独自に文人を使ってブランディングをしていますが、各文人が集まるハブとして本郷で文人のブランディングをし、地方と文京区が共に協同しながらブランディングする新しい地域ブランディングの企画を進めています。文人が、東京文京区と地方の「交流大使」を担い、多くのつながりを持った地域ブランディングになっていきます。また、東京が一人勝ちする構図ではなく、地方も同じように利益をもたらす構図を考えます。	事業段階	アカデミー推進課 経済課
2	ご近所やさい	清井 義文	ご近所やさい	都市の住宅街に野菜の「直売所」を設け、消費者と生産者を直接つなぐ。 消費者:無農薬・減農薬の旬野菜を提供農家から直送しているため(中間業者等をはさまない)比較的安い価格で提供 生産者:農協や小売店より高く仕入れる(生産者の収入増にも貢献) 店舗は民家のガレージの一角、営業時間外のレストラン、惣菜店の一角など活用されていないスペースを使用。 販売スタッフは、レストランや惣菜店スタッフ、ボランティアスタッフ。	アイデア段階	経済課
3	子育てkitchen	田中 由美子	子育てkitchen	台所育児を通して、子育てストレスの軽減をする	アイデア段階	男女協働・子ども家庭支援センター担当課
4	特定非営利活動法人小石川	橋本 直和	文京区アスリート大会	誰もが参加しやすい「陸上大会の開催」 (目的):現在文京区には区民陸上大会がありません。陸上は全てのスポーツの基本です。陸上大会を開催することで、区民の方の健康増進を図るとともに、陸上を体験し面白さを知って頂き、何かスポーツを始めるきっかけとなる。また、普段スポーツを行っていない人が、自分の体力を再確認する。 さらには、文京区の資産である大学との連携も図り、地域と大学、地域と学生のコミュニケーションの活性化を図るとともに、学生の社会参加を促すきっかけとなる。	アイデア段階	スポーツ振興課
5	日本労働者協同組合(ワーカーズ・ユープ)連合会センター事業団/特定非営利活動法人ワーカーズユープ他JV	川原 隆哲	社会的就労 文京プロジェクト	社会的排除に遭い、孤立無援の状態に置かれている人々が、自分らしく無理のない形での継続的な社会参加ができるよう、地域コミュニティ、ボランティア団体、企業を含めた受け入れ先と、受入可能な範囲を調査し把握する。 誰もが何度でも再挑戦することのできる、その人らしい社会参画の機会を創出し、多様性を受け入れられる、成熟した社会を築いて行くキッカケを作り出す。	アイデア段階	経済課 児童青少年課

【参考：プロジェクト評価基準】

(1) 『地域の課題を解決するという目的や目標をもっている』

- A+. 文京区と社会の課題を理解し、課題解決のためのビジョンが明確になっている
- A. 社会課題解決のビジョンが明確になっている
 - B. 社会課題解決のビジョンは明確ではないが、アイデアや思いは明確である
 - C. 社会課題解決に対するアイデアや思いは明確にできていない
 - D. 社会課題解決よりも自分の利益を優先している

(2) 『多様な地域のコミュニティや住民の課題解決への参加を促している』

- A+. 文京区のコミュニティや住民と関係性が深く、住民参加を重視し運営されている
- A. コミュニティや住民の参加を重視した運営がされている
 - B. コミュニティや住民の参加はこれからだが、重視した運営方針が明確である
 - C. コミュニティや住民の参加を検討している
 - D. コミュニティや住民の参加を望んでいない

(3) 『継続的な仕組み（事業モデル）をもっている』

- A+. 文京区での事業展開、文京区の資源を活かした展開の事業モデルがある
- A. 事業モデルができています
 - B. 事業モデルを構築中である
 - C. 事業モデル、仕組み化のアイデアはある
 - D. 事業の仕組み化への意識が弱い、仕組み化が見えていない

(4) 『生まれる成果を明確にし、外部から評価できるよう公開している』

- A+. 文京区への社会的影響を、客観的な評価基準をもって取り組み、公開している
- A. 事業の成果、評価を客観的な基準をもって取り組み、公開している
 - B. 事業の成果について明確なイメージをもち、評価についても考えている
 - C. 成果志向であり、外部評価の大切さはわかっているが、模索中である
 - D. 成果志向、外部評価に対して後ろ向きの姿勢である

○プロジェクトの分類

登録要件：1項目でも「D」があるものは、登録しない。

- ・「事業段階」＝4項目がB以上のもの
- ・「構想段階」＝3項目以上がBのもの
- ・「アイデア段階」＝上記以外のもの